

登録コード	E2660900	開講年度	2026			
授業科目	衛生学・公衆衛生学基礎				担当教員	友川 幸
英文授業名	Basic Hygiene and Public Health				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生
講義室	教育 E 201		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				保健体育教育の実践において求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				保健体育教育を実施していく上で必要不可欠な専門的知識と技術を身につける。具体的に は、公衆衛生学の背景となる歴史や定義および目標, 集団の健康の保持, 増進のための施策や, その施策の基盤となる健康・疾病・行動に関する統計の概念を説明できるようになる。また, 生態系と人間生活, 環境と健康のかかわりを理解し, 健康に良い環境を維持する重要性を説明できるようになる。さらに, 現代の社会や子どもが抱える子どもの健康問題・疾病の発生要因とその対策について, 人間生活や社会との関連から包括的に理解し, 学校現場で求められる保健活動について自分なりの考えを持てるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要	公衆衛生学の背景となる歴史や定義および目標, 集団の健康の保持, 増進のための施策や, その施策の基盤となる健康・疾病・行動に関する統計の概念を, 具体例を示しながら解説する。また, 身近な事例を示しながら, 生態系と人間生活, 環境と健康のかかわりを理解し, 健康に良い環境を維持する重要性を解説する。さらに, グループでの議論を通して, 現代の社会や子どもが抱える子どもの健康問題・疾病の発生要因とその対策について, 人間生活や社会との関連から包括的に理解し, 学校現場で求められる保健活動について自分なりの考えを持てるようにする。本授業は, 男女共同参画に関する内容を含んでいます。					
(5)授業計画	第 1 回: オリエンテーション (講義予定と授業評価について) 第 2 回: 公衆衛生の定義, 目標, 歴史 第 3 回: 生態系の中の人間生活 第 4 回: 環境汚染と健康 第 5 回: 環境衛生と健康 第 6 回: 健康, 疾病, 健康行動に関わる統計資料 第 7 回: 疾病予防と健康管理 第 8 回: 栄養と食育、中間試験 第 9 回: 健康状態・疾病の測定と評価 (疫学) 第10回: 生活習慣の現状と対策 第11回: 精神保健 第12回: 現代的な健康問題とその対策 第13回: 根拠に基づく保健政策・保健・医療・福祉・介護の制度 第14回: 国際保健医療, 海外での健康教育活動 定期試験 期末試験と授業のまとめ、授業のアンケート 各授業の前後に小テスト、レポート提出、および授業中にグループ発表を行う場合がある。					
(6)成績評価の方法	授業の達成目標 の到達度を評価するために, 1)公衆衛生学の基礎的な知識の習得と理解の深まり評価する中間試験 (25点) 2)公衆衛生学の基礎的な知識の習得と理解の深まり評価するグループ発表 (15点) 3)授業内容の理解と自己学習の状況を評価するための授業ノート (15点) 4)公衆衛生学の考え方を基にして学校現場で求められている保健活動についての洞察の深まりを評価する期末試験 (40点) 5)公衆衛生学に関するレポート (5点) 上記をもとに総合的に評価する。					
(7)成績評価の基準	・ 中間・期末試験の場合: 授業で説明した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある」, 応用問題が解ければ「やや上にある」, やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」, 例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」と評価する。 ・ 授業ノートの場合: (i) 授業のレジュメが印刷, 貼りつけされている, () 授業内容に関するコメントが記載されている, () 授業に直接関係することに関して, 自分で調べた情報が記載されている, () 授業に関する応用的な内容に関して自分で調べた情報が記載されている, () 自分で調べた内容に関して批判的考察がされている。() から () の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目できていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・ グループ発表の場合:					

(7)成績評価の基準	()対象の課題が十分に理解されている, ()問題の設定が適切である, ()対象の興味や関心をひく内容になっている ()発表時間が適切に確保されている, ()適切な発表が行われている。()から ()の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば,「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・レポートの場合: ()問題の設定が適切である。()その問題の背景を説明できている ()提示された問題にどのような課題があるのかを指摘できている。()提示された問題の課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている ()自分の見解を提示できている,かつ,誤字脱字がなく,引用文献やデータの出所が明確である。()から ()の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば,「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。
(8)事前事後学習の内容	eALPS上に次週の授業内容を掲載するので,ダウンロードして予習しておくこと。自宅学習では,専門書,新聞,ニュース,インターネットなどを用いて,授業で扱った内容や健康や安全,環境に関する情報や時事問題について学習すること。授業内で十分に理解できなかった事項は,授業内で紹介する書籍などを用いて,自宅学習などを行い,補完・理解するように努めること。この授業は 90時間の学修を必要とする内容です。従って,60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	プレゼンテーションの資料に関しては,インターネットの情報のコピーや出所の不明瞭な情報を使用しないこと。授業への遅刻,授業に関係ない作業(授業中の飲食,ガムを噛むこと,他の授業のテスト勉強や提出物の作成,携帯電話の使用)および私語を禁止する。アルバイトや部活動などによる欠席は公欠として認められない。
(10)質問,相談への対応及び連絡先	授業に関する質問は,基本的に授業内で確認するようにし,授業内で解決できなかった質問については,sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。オフィスアワーは,毎週火曜日の12時20分~12時50分の間であり,E309室にて対応する。相談事項等がある場合は,必ず事前にメールで連絡すること。
【教科書】	適宜資料を配布
【参考文献】	シンプル衛生公衆衛生学 2020年 鈴木庄亮 南江堂 (2640円) わかる公衆衛生学・たのしい公衆衛生学 2020年 丸井英二 弘文堂 (2200円)